

平成23年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成23年2月4日

上場取引所 大

上場会社名 株式会社 中京医薬品

コード番号 4558 URL <http://www.chukyoiyakuhin.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山田 正行

問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役 (氏名) 辻村 誠

TEL 0569-29-0202

四半期報告書提出予定日 平成23年2月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年3月期第3四半期の業績(平成22年4月1日～平成22年12月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年3月期第3四半期	5,362	△12.9	369	2.0	386	1.4	153	△27.3
22年3月期第3四半期	6,153	—	362	—	381	—	210	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年3月期第3四半期	15.17	—
22年3月期第3四半期	20.86	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年3月期第3四半期	5,407	2,366	43.8	234.30
22年3月期	5,180	2,266	43.8	224.47

(参考) 自己資本 23年3月期第3四半期 2,366百万円 22年3月期 2,266百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年3月期	—	2.50	—	2.50	5.00
23年3月期	—	2.50	—		
23年3月期 (予想)				2.50	5.00

(注)当四半期における配当予想の修正有無 無

3. 平成23年3月期の業績予想(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	6,800	△9.0	250	43.7	270	37.1	100	12.4	9.90

(注)当四半期における業績予想の修正有無 無

4. その他（詳細は、【添付資料】3ページ「2. その他の情報」をご覧ください。）

(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 有

(注)簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

(注)「四半期財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 23年3月期3Q 11,385,734株 22年3月期 11,385,734株

② 期末自己株式数 23年3月期3Q 1,286,978株 22年3月期 1,286,678株

③ 期中平均株式数(四半期累計) 23年3月期3Q 10,098,891株 22年3月期3Q 10,099,282株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されております業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報により作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期の業績等に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する定性的情報	2
(2) 財政状態に関する定性的情報	2
(3) 業績予想に関する定性的情報	2
2. その他の情報	3
(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	3
(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	3
3. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 継続企業の前提に関する注記	9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9

1. 当四半期の業績等に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する定性的情報

当第3四半期累計期間における我が国の経済は、景気後退には歯止めが掛かり一部の業種で企業業績の回復が見られるものの、円高の進展や雇用情勢の悪化による個人消費の低迷が続いており、景気は回復基調にあるとはいうものの底割れ懸念を伴った非常に弱々しい状態が続いております。

このような環境の中で、当社は顧客満足度の向上を営業の現場でしっかり根付かせ、より一層お客様に「健康」と「幸福」をお届けできる企業を目指すとともに、昨今相次ぐ企業不祥事を他山の石とし、企業の社会的責任の重要性を再認識し、当期に見直した中期計画においてCSRの理念を明文化いたしました。また全社員への周知徹底に努め、皆様方から「より愛され、より親しまれる企業を目指す」ことを第一義の目的とし、経営基盤の強化に取り組んでまいりました。当社の主力事業であります家庭医薬品等販売事業におきましては、第2四半期累計期間まで積極的に行った営業所統廃合を一旦終結し、当第3四半期会計期間においては1営業所の統廃合を行うに留めました。また営業効率の向上を目指し、過去数年間売上実績が無かった顧客からの救急箱の引上げを継続して行いました。その結果、売上高は景気低迷や新規採用の抑制による営業人員の減少の影響で前年同期比で12.9%の減少となったものの、販売費及び一般管理費が前年同期比で13.5%の大幅削減となり、経常利益は前年同期比1.4%の微増となりました。なお、営業効率の向上により営業活動によるキャッシュ・フローが大幅に改善されることとなりました。またアクアマジック事業部で展開いたしております売水事業につきましては、昨今の健康志向ブームによる飲料水へのこだわりと、拡大するミネラルウォーター宅配市場の成長の波に乗るべく事業拡大を見据え、供給力の大幅向上のため当年度中に新工場の稼働を目指しております。

その結果第3四半期累計期間におけるセグメント別売上高は、家庭医薬品等販売事業の小売部門においては4,240百万円(前年同期比12.9%減)、卸売部門においては796百万円(前年同期比11.7%減)、売水事業部門においては317百万円(前年同期比1.2%減)、保険事業部その他においては8百万円(前年同期比86.1%減)となりました。

また、当第3四半期累計期間における売上高は5,362百万円(前年同期比12.9%減)、営業利益は369百万円(前年同期比2.0%増)、経常利益は386百万円(前年同期比1.4%増)、また四半期純利益は153百万円(前年同期比27.3%減)となりました。

(2) 財政状態に関する定性的情報

当第3四半期累計期間末における総資産は5,407百万円となり、前事業年度末に比べ226百万円増加いたしました。これは主に現金及び預金の増加195百万円、受取手形及び売掛金の増加137百万円及び委託商品の減少77百万円によるものであります。

負債の部は3,041百万円となり、前事業年度末に比べ127百万円増加いたしました。これは主に短期借入金の増加160百万円、支払手形及び買掛金の増加79百万円及び長期借入金の減少202百万円によるものであります。

純資産の部は2,366百万円となり、前事業年度末に比べ99百万円増加いたしました。これは主に利益剰余金の増加102百万円によるものであります。

この結果、自己資本比率は、前事業年度末と同率の43.8%となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

当第3四半期末の現金及び現金同等物(以下「資金」という)の残高は926百万円(前年同期比7.5%減)となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果増加した資金は413百万円(前年同期は107百万円の増加)となりました。これは主に、税引前四半期純利益332百万円及び売上債権の増加額137百万円によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果減少した資金は127百万円(前年同期は66百万円の増加)となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出139百万円、定期預金の払戻による収入100百万円及び定期預金の預入による支出88百万円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果減少した資金は78百万円(前年同期は120百万円の増加)となりました。これは主に、長期借入金の返済による支出282百万円、短期借入金の純増加額160百万円及び長期借入れによる収入100百万円によるものであります。

(3) 業績予想に関する定性的情報

平成23年3月期の業績予想につきましては、平成22年10月29日付けにて発表いたしました業績予想からの変更はありません。詳細につきましては「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

2. その他の情報

(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前事業年度において使用した将来の業績予測に当四半期累計期間における著しい変化の影響を加味したものを使用しております。

(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

資産除去債務に関する会計基準の適用

第1四半期会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」（企業会計基準第18号 平成20年3月31日）及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日）を適用しております。

これにより、当第3四半期累計期間の営業利益及び経常利益は11,288千円、税引前四半期純利益は36,599千円減少しております。

3. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	当第3四半期会計期間末 (平成22年12月31日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成22年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,101,972	906,846
受取手形及び売掛金	543,843	406,468
商品及び製品	355,599	397,590
委託商品	445,142	522,380
仕掛品	62	65
原材料及び貯蔵品	18,875	29,617
その他	153,125	184,634
貸倒引当金	△13,835	△9,286
流動資産合計	2,604,785	2,438,315
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	527,350	455,448
土地	1,713,175	1,713,175
その他(純額)	58,620	21,415
有形固定資産合計	2,299,147	2,190,039
無形固定資産	57,695	56,325
投資その他の資産		
その他	473,934	525,129
貸倒引当金	△28,305	△29,110
投資その他の資産合計	445,629	496,018
固定資産合計	2,802,472	2,742,384
資産合計	5,407,258	5,180,700
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	509,894	429,975
短期借入金	310,000	150,000
1年内返済予定の長期借入金	388,176	368,184
未払法人税等	40,277	10,435
役員退職慰労引当金	7,870	—
賞与引当金	90,600	153,000
返品引当金	7,761	15,709
その他	450,371	363,829
流動負債合計	1,804,951	1,491,133
固定負債		
長期借入金	740,785	943,579
退職給付引当金	140,933	151,554
役員退職慰労引当金	306,830	302,150
資産除去債務	4,233	—
その他	43,348	25,354
固定負債合計	1,236,129	1,422,638
負債合計	3,041,081	2,913,772

(単位：千円)

	当第3四半期会計期間末 (平成22年12月31日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成22年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	530,950	530,950
資本剰余金	274,115	274,115
利益剰余金	2,116,426	2,013,715
自己株式	△548,266	△548,199
株主資本合計	2,373,224	2,270,581
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△7,047	△3,653
評価・換算差額等合計	△7,047	△3,653
純資産合計	2,366,176	2,266,928
負債純資産合計	5,407,258	5,180,700

(2) 四半期損益計算書
(第3四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)
売上高	6,153,936	5,362,897
売上原価	2,036,912	1,745,432
売上総利益	4,117,023	3,617,465
販売費及び一般管理費	3,754,582	3,247,733
営業利益	362,441	369,731
営業外収益		
受取利息	755	500
受取配当金	1,130	1,656
受取家賃	15,924	15,937
その他	18,689	15,536
営業外収益合計	36,499	33,631
営業外費用		
支払利息	16,056	14,050
為替差損	1,055	587
その他	393	2,029
営業外費用合計	17,504	16,666
経常利益	381,436	386,696
特別利益		
投資有価証券売却益	484	0
保険解約返戻金	1,613	—
固定資産売却益	35,918	—
特別利益合計	38,016	0
特別損失		
固定資産除却損	9	4,961
減損損失	2,721	22,358
投資有価証券評価損	197	1,833
役員退職慰労金	10,700	—
保険解約損	6,700	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	25,310
その他	430	—
特別損失合計	20,758	54,464
税引前四半期純利益	398,694	332,231
法人税、住民税及び事業税	90,830	155,490
法人税等調整額	97,182	23,535
法人税等合計	188,012	179,026
四半期純利益	210,682	153,205

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	398,694	332,231
減価償却費	36,790	36,306
減損損失	2,721	22,358
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	3,357	3,744
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△12,734	△10,620
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△38,070	12,550
受取利息及び受取配当金	△1,885	△2,157
支払利息	16,056	14,050
為替差損益 (△は益)	1,286	—
投資有価証券売却損益 (△は益)	△484	△0
固定資産売却損益 (△は益)	△35,918	—
固定資産除却損	9	4,961
投資有価証券評価損益 (△は益)	197	1,833
保険解約損益 (△は益)	6,700	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	25,310
売上債権の増減額 (△は増加)	△87,169	△137,375
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△91,879	129,973
仕入債務の増減額 (△は減少)	98,729	79,918
その他	△37,871	35,109
小計	258,529	548,196
利息及び配当金の受取額	1,748	2,025
利息の支払額	△16,069	△14,050
法人税等の支払額	△136,245	△123,135
営業活動によるキャッシュ・フロー	107,961	413,036
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△39,352	△88,467
定期預金の払戻による収入	54,337	100,400
有形固定資産の取得による支出	△27,163	△139,586
有形固定資産の売却による収入	65,508	—
無形固定資産の取得による支出	△5,943	△3,382
投資有価証券の取得による支出	△31,300	△2,060
投資有価証券の売却による収入	3,484	2,060
貸付金の回収による収入	720	720
関係会社の整理による収入	18,459	—
その他	28,218	3,301
投資活動によるキャッシュ・フロー	66,967	△127,015

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△95,000	160,000
長期借入れによる収入	910,000	100,000
長期借入金の返済による支出	△583,745	△282,802
社債の償還による支出	△34,500	—
リース債務の返済による支出	△815	△5,598
自己株式の取得による支出	△69	△68
配当金の支払額	△75,744	△50,494
その他	19	0
財務活動によるキャッシュ・フロー	120,145	△78,962
現金及び現金同等物に係る換算差額	△28	—
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	295,046	207,058
現金及び現金同等物の期首残高	706,321	719,447
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,001,368	926,506

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。